

## 会 議 録

- 1 会議名 第1回白山会館運営委員会
- 2 議題（公開・非公開の別）
  - (1) 平成26年度白山会館事業の事業報告について（公開）
  - (2) 平成27年度白山会館事業および平成27年度事業計画について（公開）
  - (3) 白山会館運営委員の任期満了による改選について（公開）
- 3 開催日時 平成27年5月27日(水) 午前10時から午前11時まで
- 4 開催場所 白山会館 第1・2研修室
- 5 傍聴人の数 0人
- 6 非公開の理由 なし
- 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）
  - ・委員：寺田委員長、渡辺副委員長、小林委員、吉村委員、橋本委員、白川委員、伊藤委員、山岸委員、井部委員（磯貝委員、中村委員、浦沢委員：欠席）
  - ・事務局：社会教育課 大山課長、武内係長、市川主任、保坂社会教育指導員、横山社会教育指導員

### 8 発言の内容

#### 【開会】

【委嘱状交付】4月の人事異動、役員改選による新しい白山会館委員に委嘱状を交付。

【委員・事務局員紹介】 出席した白山会館運営委員・事務局職員の紹介。（自己紹介）

#### 【寺田委員長あいさつ】

（寺田委員長）

ご多用の中ご出席いただき、ありがとうございます。本年度も、白山会館及び同和教育の事業について、ご意見、ご協力をよろしくお願いします。

先日5月10日に行われた部落解放同盟新潟県連合会定期大会に出席したところ、昨年度の部落解放同盟新潟県連合会の活動や新潟県の同和行政についての報告がなされ、「寝た子を起こすな論」の強さ、同和对策事業の取組みについての課題、問題が示された。今後、人権・同和問題についての研修や、問題・課題は何かを考え、取り組む活動が一層大事になってくる。

人権・同和問題に対する意識が形式化、形骸化することにより、人権感覚が鈍っていくことは非常に危険なことで、昨年の高田開府400年記念誌の問題にきちんと対応できなかったことにも表れている。

今年度は同和对策審議会答申が出されて50年目の年である。今、改めて答申がどうしてつくられたのか、意味や主旨を考えて、今まで行ってきた取組みへの思いをもって白山会館事業をより

充実した活動にしていきたい。

## 【協議】

### (1) 平成年度白山会館事業の事業報告

事務局から、資料「平成26年度上越市社会同和教育事業報告」に基づいて説明を行った。

(寺田委員長)

平成26年度の事業報告について、質問、意見等をお願いします。

(特になし)

(寺田委員長)

事務局で、事業を実施する中での感想や、気がついたことなどあるか。

(事務局)

小中学生の学習会で、参加している児童が友達を連れてきて、一緒に学習していることを先生方から聞いた。学習会が、子ども同士の交流の輪が広がる機会になっている。

(寺田委員長)

とてもいいことなので、今後も続いていってほしいと思う。

(事務局)

現地学習会について、平成26年度は1800人を超える参加者があった。学校や組織で関心を持たれている表れだと思う。また、小学校区で開催する人権を考える講話会では、3巡目を終えたところだが、最近の傾向として青少年育成会議から大きな協力をいただき、町内会役員や地域の方の参加者が増えている。お寺関係や連合婦人会からも講師の派遣依頼をいただき、講話会を開催した。学習機会のすそ野が広がっていることを感じる。

(吉村委員)

連合婦人会での講話会を開催させていただいた。連合婦人会としては、このような内容の講話は初めてで、若干心配だったけれども、お話を聞いた結果、参加者から質問も出て、理解が得られたと思う。一步を踏み出せた感じがあった。

(寺田委員長)

ぜひ継続して行っていただきたい。

### (2) 平成27年度白山会案事業の事業計画について

事務局から、資料「平成27年度上越市社会同和教育事業計画」に基づいて説明を行った。

(事務局)

前年度と同様、継続していくことを大事にそれぞれの事業を行っていききたい。今年度は長野県で全国人権・同和教育研究大会が開催されるので、詳細が分かり次第委員の皆さんにも連絡するので、ご協力をお願いします。

(寺田委員長)

平成27年度の事業計画について、質問、意見等をお願いします。

(特になし)

### (3) 白山会館運営委員会の任期満了による役員改選について

白山会館運営委員会の役員改選について、事務局から説明を行った。

(事務局)

7月18日に現在の委員の任期満了を迎える。2年間、委員の皆さまには白山会館事業にご協力いただき、ありがとうございました。事務局といたしましては、ぜひ皆さんにご継続いただきたいと考えている。

現在の任期開始・満了日について、白山会館運営委員の規則が施行された時期になっている

が、委員の推薦を受ける学校や他団体の人事異動や役員改選の時期と合わず、委員の委嘱・解任が煩雑になっているので、推薦元の団体等の負担にならないような日程に変更したい。

(寺田委員長)

委員の皆さん、2年間の任期お疲れさまでした。ご協力ありがとうございました。

7月の役員改選と任期開始・満了日の変更について、質問や意見等がありますか。

(特になし)

(寺田委員長)

任期満了日の変更について、事務局の案があれば話してほしい。

(事務局)

学校の人事異動や、推薦元の団体の年度初めの会議等の日程を考えて、適切な任期満了の日程を考えている。

(寺田委員長)

任期満了日の変更については了解した。日程等は事務局に任せるので、適切な日程にしていたきたい。

それでは、全体について、質問や意見等ありますか。

(特になし)

(寺田委員長)

ないようなので、議事を終了し、進行を事務局にお返しする。委員の皆さん、ありがとうございました。

#### 【その他】

次第4 その他の項目について、事務局から連絡、説明。

(事務局)

その他の項目について質問、意見等ありますか。

(特になし)

(事務局)

委員の皆さんから連絡事項はありませんか。

(渡辺副委員長)

新潟県の現状について、お話しさせていただく。新潟県同和教育研究協議会から、先日、相談を受けた。今年は長野県で、全国人権・同和教育研究大会が開催される。開催については、新潟県同和教育研究協議会として協力体制を取っている。現在、新潟県内では加茂市以外の市町村がすべて新潟県同和教育研究協議会に加入している。加茂市にもずっと加入を呼びかけているが、積極的ではない。しかし、加茂市の職員や先生方が同和教育をしないでもいいというわけではないので、県全体で加茂市の加入を働きかけていきたいと思っている。

全国人権・同和教育研究大会には、大勢の方からの参加をいただきたい。レポートも多く出していただきたいと思う。現在、新発田市住吉小学校、佐渡市の「扉の会」のレポートがあると聞いている。佐渡は、昨年度、新潟県同和教育研究集会を開催したことが自信につながり、佐渡の同和教育事業に一定の前進が見られている。

寺田委員長からも定期大会の話をしていただいたが、テーマが「行政とどうかかわっていくか」であった。本人通知制度を平成25年8月に上越市で導入してから、新潟県内の市町村に次々と広がってきている。

しかし、平成25年度の県民アンケートの「身元調査について」の結果が、「することは当然だと思う」「よくないとは思いますが仕方ない」の2項目の割合が65%にものぼり、ここに大きな問題が見られると考える。

(事務局)

ほかにありますか。

ないようですので、本日予定していた内容はすべて終了しました。これで平成27年度第1回白山会館運営委員会を閉会します。ありがとうございました。

【閉会】

9 問い合わせ先

上越市教育委員会社会教育課社会教育係

TEL : 025-545-9245 (内線 1270)

E-mail : shakai@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。